

善福寺川の桜をドローンで紹介

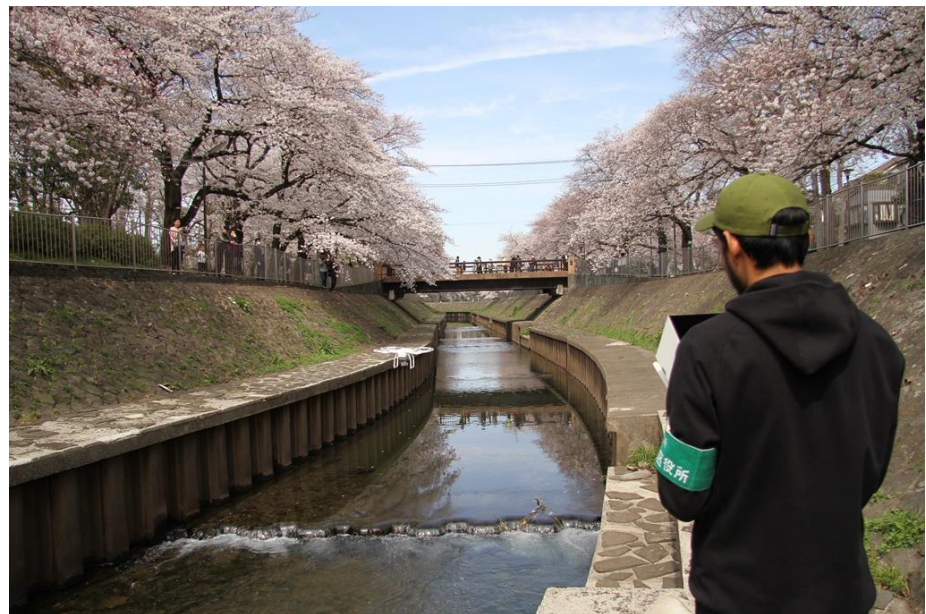
3月26日、快晴無風の善福寺川緑地では、初めてドローンを使った桜の動画撮影が行われました。善福寺川の川面すれすれから上空約30mの高さまで、満開の桜を余すことなく捉えたドローンならではの迫力ある映像は、本日から「中央線あるあるプロジェクト」で順次配信します。

善福寺川は、杉並区の西端にある善福寺池を水源に、区内を横断し中野区境で神田川に合流します。その善福寺川が五日市街道と交差する尾崎橋から上流方向に4.2kmほどが、善福寺川緑地となっていて約700本の桜の名所として知られています。

杉並区や東商杉並支部、商店会連合会などが中心となって取り組んでいるのが、「中央線あるあるプロジェクト」です。このプロジェクトは、中央線を中心とした区内のイベントや隠れた名店、まちの魅力などを紹介することで、区内により多くの方々に足を運んでもらおうとするものです。杉並区内には、高円寺の阿波おどりや阿佐谷の七夕まつり、ジャズストリートなど、東京を代表する風物詩もありますが、まだまだ知られていない魅力あるイベントや商店街などがあります。

善福寺川緑地の桜も、杉並の大きな魅力の一つで、毎年多くの花見客が訪れています。今年の東京の桜は、平年より10日早く3月24日には満開となり、本日は朝から快晴無風の絶好の花見日和となりました。

そんな桜の名所ですが、これまでとは違った桜を見てもらおうと、「中央線あるあるプロジェクト」のメンバーが考えたのが、ドローンでの撮影です。桜の木の下をゆっくりと歩いて見上げるのではなく、約30mまで上昇し川を覆うように咲く桜や川面すれすれを猛スピ



ードで飛びながらの桜の様子など、これまでには見ることができなかった景色を撮影しました。それらの動画は編集の上、「中央線あるあるプロジェクト」のホームページ等で順次配信します。

【問い合わせ先】

中央線あるあるプロジェクト実行委員会

事務局：産業振興センター観光係 03-5347-9184